



# 赤中プライド2026

水戸市立赤塚中学校

学校だより②

令和8年5月25日

## たかが「あいさつ」、でもやっぱり「あいさつ」

毎朝、登校時に正門に立っていると「おはようございます」と気持ちのよいあいさつを返してくれる人が多く、朝からたくさんの元気をもらいます。『笑顔であいさつをしてくれる人』『立ち止まって丁寧にあいさつをしてくれる人』『こちらがあいさつをする前に「おはようございます」とあいさつしてくれる人』何事にも熱く、一生懸命で、あいさつがしっかりできる赤中生はとても自慢です。

あいさつの大切さに関するエピソードを2つ紹介します。

### 【Episode 1】

先日、県内の大きな企業の社長さんとお話する機会がありました。

「校長先生、もちろん勉強も大事、部活動も大事、でもやっぱりあいさつが一番大事だ。中学校でいろいろなことを学ぶと思うけれど、ぜひ、しっかりとあいさつができる生徒を育ててほしい」とおっしゃっていました。

「会社はお客様との信頼関係の中で仕事をしている。あいさつの良し悪しで数百万円の利益を生むこともあれば、数百万円の損失につながることもある。うちの会社は気持ちのよいあいさつができる社員しか採用しない。あいさつと表情はその人の人柄を映す鏡だから」

### 【Episode 2】

ある有名なパティシエさんが講演会で話されていたことです。

「プロ野球の監督や、一流企業の社長、あるいは一流の料理人など、社会の第一線で活躍する人に『仕事で一番大切なことは何ですか?』と聞くと、多くの人が『あいさつ』と答えます。では、なぜ、天才的な技術を持つ人たちが、そんな当たり前のことを言うのでしょうか。」

そのパティシエさんはこう続けます。「あいさつができない人には、誰も技を教えようと思わない。あいさつができない人は、周りのアドバイスを素直に聞けないから、成長が止まるんだ」

あいさつは、自分の「学ぶ準備ができています」という姿勢の証明でもあります。みなさんがこれから高校受験、そして社会へと出ていくとき、どれだけ勉強ができて、あいさつができない人はチャンスを逃します。逆に、気持ちのよいあいさつができる人は、それだけで「この人を応援したい」と周りの大人や先輩からのサポートや信頼を得ることができます。あいさつは未来の自分を助ける最強の武器なのです。



ありがとうございます

おはようございます